**こども**

**は、のをぶというを受けつぎ、長い歴史の中でわれ、してきたです。**

**は、正しさを身につけ、技をみがき、心身をきたえ、りっぱな人になるためののです。わたしたちは、技のやの勝ち負けだけをにするのではなく、を正しくして、このすばらしいのをにしなくてはなりません。**

**これからもを愛し、を続けていくために、わたしたちが心がけなくてはならないことを「こども」としてげ、これを守ります。**

**第１条（）　　は技をくことによってをきたえ、強くたくましく、勇気と思いやりとをもった、社会に役立つ人になることをめざします。**

**第２条（）　　をするときは、先生の教えやを守り、を大切にし、技だけでなく、心と体もにきたえるよう、にはげみます。**

**第３条（）　　試合やでは、ふだんのの力を出しきってがんばり、勝ち負けやだけにこだわらず、ある真剣なでのぞみます。**

**第４条（）　　では、技をみがき、心と体をきたえる場所として、やを守り、とをこころがけます。**

**第５条（）　　のを大切にして、お互いにし、ましながら、楽しくし、さらに多くのをつくります。**

平成十六年九月十六日制定

日本武道協議会